

# 読売新聞 6月30日掲載分

## 高垣真路の TeeBreak

### ロブショット

ゴルフではグリーン近くまでボールを運ぶと、次はアプローチショット(約5ヤード以内)になります。そこで球を転がして旗に寄せる《ラン》か、上げて止める《ピッチ》かを考えます。しかし、バンカー越えでピンが近くて距離がないようなケースでは、《ピッチ》をさらに進化させた《ロブ》というワザの見せ場になります。

通常ゴルフはボールのま横(赤道)を叩くのですが、ロブはフェースを開いて(右に向ける)センベイを寝かしたようにし、ボールの



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「フェースを開いて上げて寄せて!」

底の部分(南極)をこするよう打ちます。また時には包丁で刺身を切るようにボールの下を斜めに切るように走らせます。そうするとボールがふわっと空中に上がってからストンと地面に落ちて止まります。打ち方のコツはバックスイングでのコック(手首の折れ)をしたまま手元を振り下ろす感覚です。

(PGAティーチングプロA級)

夜間 150分 または 90分 打ち放題!  
たくさん打ちたい方に最適!!  
個人レッスン・各種ゴルフ教室  
西の森ゴルフパーク 宇都宮市 駒生町1780-1  
西の森ゴルフ 検索 ☎028-652-3344

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に  
毎月最終金曜日に掲載されています。